

# 避難の実施により健康リスクが高まる避難行動要支援者に係る対応

- 避難の実施により健康リスクが高まる者については、安全に避難が実施できる準備が整うまで放射線防護機能を付加した近傍の放射線防護対策施設(9施設)へ屋内退避を実施。
- これら9施設では、施設入所者とPAZ内の在宅の避難行動要支援者等を最大約1,400人収容可能。また、屋内退避者のための7日分を目安に食料及び生活物資等を備蓄。
- さらに、屋内退避中に食料等が不足するような場合には、中国電力が供給。

特別養護老人ホーム  
あさひの苑  
(収容可能者数:77人)



鹿島病院  
(収容可能者数:421人)



障害者支援施設はばたき  
(収容可能者数:75人)



障害者支援施設  
福祉型障害児入所施設  
松江学園  
(収容可能者数:37人)



特別養護老人ホーム ゆうなぎ苑  
(収容可能者数:89人)



障害者支援施設  
四ツ葉園  
(収容可能者数:90人)



特別養護老人ホーム あとむ苑  
(収容可能者数:126人  
うち在宅要支援者と  
その支援者50人)



東部島根医療福祉センター  
(収容可能者数:360人  
うち在宅要支援者と  
その支援者60人)



松江市消防本部  
(収容可能者数:在宅要支援  
者とその支援者109人)



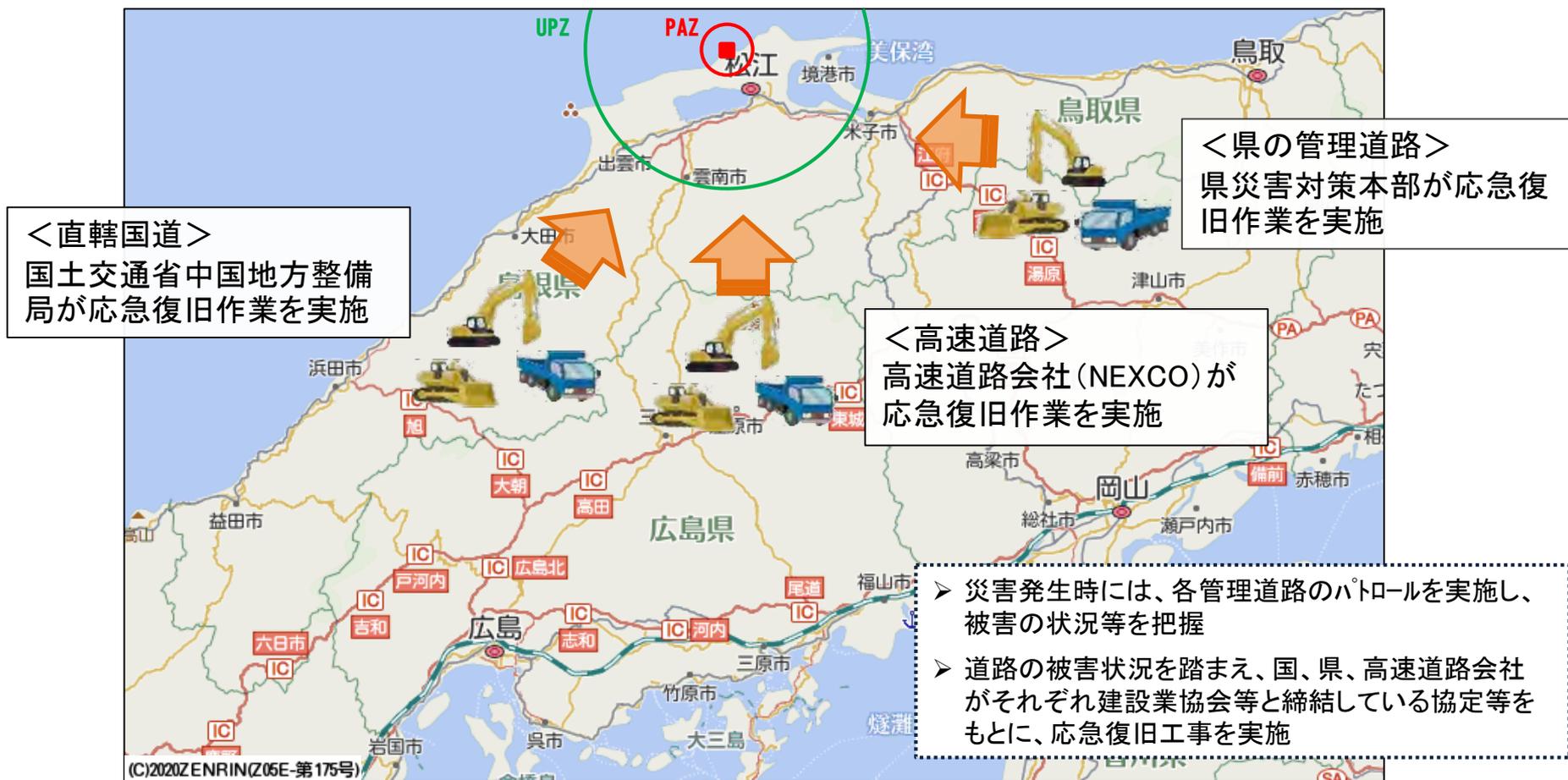
(凡例)

- : 当該施設入所者を収容
- : 在宅の避難行動要支援者(入所施設においては当該施設入所者を含む)を収容



# 自然災害等により道路等が通行不能な場合の復旧策

- 避難開始前の段階で、避難計画で避難経路として定められている道路等が、自然災害等により使用できない場合は、島根県、松江市は、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。
- 直轄国道及び高速道路については、国土交通省中国地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。



※ 不測の事態により対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請